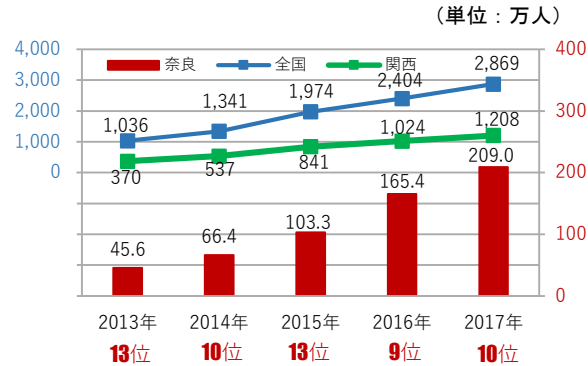


策定の趣旨

- 2037年には、リニア中央新幹線の「奈良市附近」駅の設置が見込まれる。
- 2027年には、リニア中央新幹線の名古屋・大阪間の工事が開始され、遅くともその4年前の2023年には、「奈良市附近」駅の位置とルート確定のための環境影響評価が開始されることが見込まれる。
- インバウンド需要は止まることを知らず増幅を続けており、日本の各観光地による争奪戦の様相を呈している。
- 以上の状況に鑑み、奈良県においては、リニア中央新幹線の「奈良市附近」駅の設置を見据え、県と有志市町村が連携・協働して「奈良インバウンド観光戦略20年ビジョン」の策定に取り組み、実現推進を図ることとする。

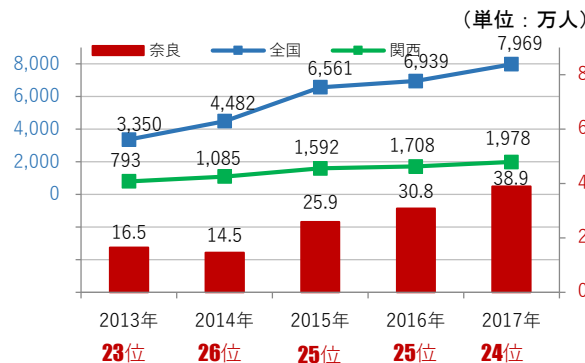
インバウンド観光の現状

<訪日外国人旅行者数>



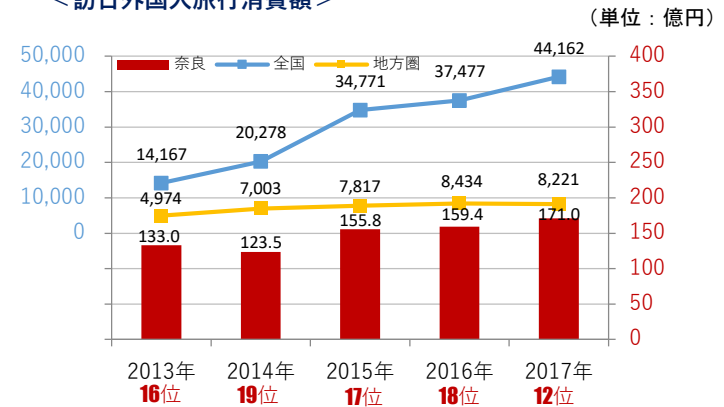
※奈良: JNTO「訪日外客数」及び観光庁「訪日外国人消費動向調査」による訪問率から奈良県において推計
 全国: JNTO「訪日外客数」
 関西: JNTO「訪日外客数」及び観光庁「訪日外国人消費動向調査」による訪問率から奈良県において推計

<外国人延べ宿泊者数>



※観光庁「宿泊旅行統計調査」

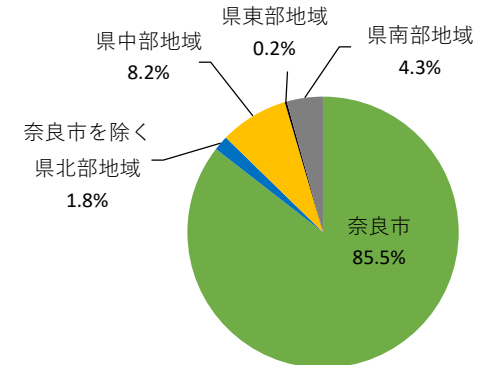
<訪日外国人旅行消費額>



※奈良: 観光庁「共通基準による観光入込客統計調査」
 全国: 観光庁「訪日外国人消費動向調査」
 地方圏: 観光庁「共通基準による観光入込客統計調査」

観光庁「共通基準による観光入込客統計調査」(2019年5月末時点)
 ...都道府県により公表時期が異なるため、年により公表されている都道府県数が異なる。
 2013年: 44都道府県(37道県) 2014年: 44都道府県(37道県) 2015年: 43都道府県(36道県)
 2016年: 43都道府県(36道県) 2017年: 33都道府県(30道県)
 ()内は、地方圏の公表数を示す。

<外国人延べ宿泊者数(地域別割合)> (2017年)



※奈良県宿泊統計調査・奈良市観光入込客数調査報告

奈良インバウンド観光戦略20年ビジョン第I期計画 骨子(案)

目標年度

2037年度

第I期計画期間

2019年度～2023年度

目標値

外国人旅行者数
(2017年 209万人)

2037年 **700万人**

(2017年の3倍超)

2023年 **400万人**

(2017年の約2倍)

外国人延べ宿泊者数
(2017年 39万人泊)

2037年 **700万人泊**

(2017年の15倍超)

2023年 **90万人泊**

(2017年の2倍超)

奈良市以外地域での
宿泊割合
(2017年 14.5%)

2037年 **30%**

2023年 **18%**

外国人旅行消費額
(2017年 171億円)

2037年 **2,000億円**

(2017年の10倍超)

2023年 **350億円**

(2017年の2倍超)

以上を最小限の目標値として、今後「奈良インバウンド観光戦略20年ビジョン」をもとに、意欲ある市町村の取組と連携し、さらなる底上げを目指す。

柱立て

1. 観光地としての奈良の魅力づくり = 「6つのA」

滞在型観光の実現

「泊まる奈良」

- ▶ **アコモデーション (Accommodation)**
宿泊施設の質と量の充実
- ▶ **アメニティ (Amenity)**
滞在環境の快適性の向上
- ▶ **アピタイト (Appetite)**
食の魅力向上

移動・周遊環境の充実

「巡る奈良」

- ▶ **アクセス (Access)**
効率的な交通・道路体系の形成

豊かな観光資源の活用

「活かす奈良」

- ▶ **アトラクション (Attraction)**
自然・歴史・文化資源の保存・活用
- ▶ **アミューズメント (Amusement)**
楽しい奈良の実現

2. 対外プロモーションの強化

外国人観光客等

3. 国際交流等の推進

海

外

4. 観光振興の土台づくり

奈良インバウンド観光戦略20年ビジョン第I期計画 骨子（案）

柱立て		施策	評価指標（例）	
1 観光地としての奈良の魅力づくり	(1) 滞在型観光の実現 「泊まる奈良」	● ①宿泊施設の質と量の充実 (Accommodation)	・ 旅館・ホテルの客室数	
		● ②滞在環境の快適性の向上 (Amenity)	・ 民泊サービスの営業施設数	
		● ③食の魅力向上 (Appetite)	・ 日本政府観光局カテゴリ1以上の観光案内所数 ・ 主要観光地における多言語対応 ・ 主要観光地における無料Wi-Fiサービス ・ 主要観光地におけるトイレの洋式化 ・ 主要観光地におけるキャッシュレス決済対応 ・ ハラル対応飲食店数 ・ 奈良県地域通訳案内士登録者数 ・ 外国人旅行者受入医療機関リスト登録医療機関数 ・ 植栽計画着手箇所数 ・ 奈良フードフェスティバルの来場者数	
	(2) 移動・周遊環境の充実 「巡る奈良」	● 効率的な交通・道路体系の形成 (Access)	・ 外国人観光客が円滑に移動できる環境整備 ・ 域外・域内アクセス交通の強化 ・ 観光振興に資する道路整備	・ 主要交通結節点におけるインバウンド対応（多言語対応、無料Wi-Fiサービス、トイレの洋式化、キャッシュレス決済対応） ・ 関西国際空港の出国外国人に係る奈良を国内最終訪問地とする割合 ・ 骨格幹線道路ネットワーク（路線の線的整備箇所）の整備率
		● ①自然・歴史・文化資源の保存・活用 (Attraction)	・ 自然・歴史・文化資源の整備・活用 ・ 自然・歴史・文化資源の保存・管理 ・ 「世界に誇れる公園」としての奈良公園等のブランド化	・ 多言語解説整備の実施地域数 ・ なら歴史芸術文化村における人材養成事業への参加国数 ・ 旅行口コミサイトにおける評価
		● ②楽しい奈良の実現 (Amusement)	・ 四季を通じた文化イベント等の展開 ・ 季節に応じたスポーツイベントの展開 ・ 滞在型農山村の推進 ・ 体験メニューの充実 ・ 伝統工芸品等買物の魅力向上	・ オフシーズンのイベントの来場者数 ・ 奈良マラソン外国人エントリー数 ・ ぐるっとオーベルジュ参加施設数 ・ アクティビティ施設整備の実施地域数 ・ 県内の消費税免税店数

奈良インバウンド観光戦略20年ビジョン第I期計画 骨子（案）

柱立て	施策	評価指標（例）
2. 対外プロモーションの強化	<ul style="list-style-type: none"> ● 外国人目線に立った情報発信 ● 奥深い奈良の魅力を活かした特色ある商品造成 ● 富裕層等をターゲットにしたプロモーションの推進 ● 政府等の関係機関との積極的連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人向け観光情報サイト「Visit Nara」ページビュー数 ・旅行商品造成における活用文化財数 ・富裕層向けファミトリップ実施件数 ・政府等の関係機関との連携プロモーション実施件数
3. 国際交流等の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 国際相互交流の推進 ● 文化財保護分野に関する国際協力の推進 ● MICEの誘致競争力の強化 ● 訪日教育旅行の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・友好提携地方政府への派遣青年数 ・橿原考古学研究所の国際協力・国際交流人数 ・国際会議開催件数 ・訪日教育旅行受入人数
4. 観光振興の土台づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 観光に関するデータの質と量の充実と利活用の推進 ● DMO法人の形成による推進体制づくり ● 観光産業の人材育成・人材確保 ● 観光教育の充実 ● 財源確保の取組 ● 県と市町村の連携・協働 	<ul style="list-style-type: none"> ・奈良県宿泊統計調査回収率 ・世界水準のDMOへの選定件数 ・観光産業の就業者数 ・観光に関するシンポジウム・セミナー等の参加者数 ・観光に関する制度融資の認定件数 ・インバウンド連携・協働体制参画市町村数

県と市町村の連携・協働によるインバウンド観光戦略の策定について

県全域の戦略

奈良インバウンド観光戦略20年ビジョン 「第Ⅰ期計画」(2019～2023年度)

県戦略会議

- ・策定にあたっての考え方
- ・目標値の設定
- ・5年間に取組む施策の方針
- ・評価指標

奈良インバウンド観光戦略20年ビジョン「第Ⅰ期計画」策定にかかる意見聴取

メンバー(案)：行政・学識・産業・金融・報道の有識者・専門家

連携

地域ごとの戦略

A地域 インバウンド観光戦略 プログラム(単年度)

- 実施事業
- 実施主体
- 評価指標・達成度

B地域 インバウンド観光戦略 プログラム(単年度)

- 実施事業
- 実施主体
- 評価指標・達成度

A地域戦略会議

B地域戦略会議

地域戦略会議

役割：地域ごとの戦略の練り上げ

- 1 地域の観光力の評価
- 2 地域の観光力を高めるための事業の実施
- 3 好事例の共有

メンバー(案)

- ・県、関係市町村
- ・宿泊事業者、交通事業者、商工業者 等
- ・地域の観光振興に取り組む人材

「地域」の考え方(案)

県が選定する「主要滞在拠点」と一体的に観光地づくり(周遊ルート形成等)に取り組む意欲のある市町村が参加

- <主要滞在拠点>
- ・宿泊施設の集積地区
 - ・まちづくり連携協定締結地区
 - ・外国人観光客の集客の核となる施設 等

検討スケジュール(想定)

